

## 「Trick Maker」

スタート:5000P ベット範囲:10~No Limit ベット単位:10P

タイムアウトペナルティ(双方60秒)

Bet→該当ゲーム参加不可+TCR(後述)でのペナルティと同じペナルティ

Action→該当ハンド敗北扱い

にこにこぷん！準拠のBJを行います。

ただし、各ゲーム終了後に「Trick Chance Roulette(以下TCR)」を行います。

TCRを成功させたプレイヤーが出た場合、即座にそのプレイヤーの優勝となります。

残りのプレイヤーは優勝者決定時の所持ポイントの多い順に順位が付けられます。

## 「Trick Chance Roulette(TCR)」

対象プレイヤー

各ゲーム終了時にゲームに参加したプレイヤーの中で、所持ポイントが最も多いプレイヤー

ルール

ルーレットの数字(1~36)をX個(X=その時のゲーム数 ex.1ゲーム目=1個 2ゲーム目=2個···)選択します。ただし、0と00は選択できません。対象プレイヤーがコメントしたタイミングでボールを1球発射します。ボールが選択した数字に入れば成功となります。入らなかった場合は「失敗時の処理」を行います。また、複数の数字を選択する際はディーラーの負担を減らすため連番で指定する必要があります。

(36と1が繋がるものとしてカウント)

### 「失敗時の処理」

失敗 →入った数字×100Pを没収されます。

00 →所持ポイントを全て没収とし、破産時の処理に進みます。

0 →所持ポイントを半額没収します。

タイムアウトペナルティはペナルティプレイヤーを基準とします。

### 「破産時処理」

破産時は2種類の宣言が行えます。

①1~5までの数をコールする。

指定した数の回数だけゲームをパスします。

指定回数のゲームをパス後にコールした数×1000Pを付与します。

ゲームをパスしている間は破産状態の継続として扱います。

また、破産状態でゲームが終了してしまった場合ペナルティが付きます。

②フォールドを宣言する。

宣言すると以降のゲームへの参加権利を失い、その時点での順位で確定します。

破産状態継続のペナルティの対象からは外れることができます。

同ゲームで破産者が複数発生した場合はボタン不利側のプレイヤーから順に「破産時処理」を行います。フォールドの宣言では先に行ったプレイヤーが上位となります。

※シンプルX時の順位判定は「破産状態プレイヤーを下位として扱い、その後フォールドプレイヤーを下から順に埋めていきます。」

また、破産状態プレイヤーが複数いる場合は残ゲーム数の多いほうを下位として扱います。

### 「ボタンについて」

1ゲームにつき画面左側に1席ずつ順番にボタンを回します。

スタートは1番席です。

アクションはボタンの次プレイヤーから順番に行います。

BETはこの影響を受けず、一斉にコールになります。

カード配布もこの影響を受けず、常に1番席から順番に配ります。

### 【簡単なゲームフロー】

#### ① ボタンを左隣に回します。

(破産状態は飛ばします。8席の次は1席になります。第一ゲームは1席が持ちます。)

#### ① Betを行います。

(一斉コールです。)

#### ② BJを行います。

(アクションはボタン次プレイヤーから行いますが、カード配布は1席からです。)

#### ③ ポイントチェックを行います。

破産プレイヤーはパスかフォールドを宣言します。

パス→1～5ゲームを選択し、そのゲーム数参加不可。

フォールド→順位を確定し、ゲームから脱落します。

(同時の場合はボタン不利のプレイヤーから宣言します。)

#### ④ 最もポイントを持っていたプレイヤーは「Trick Chance Roulette」を行います。

(同点時はボタン不利のプレイヤーが行います。)

「Trick Chance Roulette」

現在のゲーム数分1～36から連番で選択しルーレットを行います。

選択した数字に入った→EXに進みます。

選択した数字に入らなかった(0含む)→ボールの入った数字×100Pを没収します。

00に入った→破産として扱い③にあるパスかフォールドを宣言します。

#### ⑤ 選択したゲーム数をパスし終えたプレイヤーは、ゲーム数×1000Pを受け取り①に戻る。

EX 宣言が的中した時点で優勝となります。

残りのプレイヤーは残ったポイントで順位を付けます。但し、破産処理につきパス中のプレイヤーは8位よりも下の順位として扱い、ペナルティが発生します。